

財産開示手続申立書

札幌地方裁判所民事第4部 御中

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申立人

甲 野 太 郎 印
電 話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
F A X 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
(担当)

当 事 者 別紙目録記載のとおり
請 求 債 権 別紙目録記載のとおり

申立人は、債務者に対し、別紙請求債権目録記載の執行力のある債務名義の正本に記載された請求債権を有しているが、債務者がその支払をせず、下記の要件に該当するので、債務者について財産開示手続の実施を求めらる。

記

1 民事執行法197条1項の要件（該当する□に✓を記入してください。）

強制執行又は担保権の実行における配当等の手続（本件申立ての日より6月以上前に終了したものを除く。）において、金銭債権の完全な弁済を得ることができなかった（1号）。

知っている財産に対する強制執行を実施しても、金銭債権の完全な弁済を得られない（2号）。

2 民事執行法197条3項の要件（該当する□に✓を記入してください。）

債務者が、本件申立ての日前3年以内に財産開示期日においてその財産について陳述したことを

知らない。

知っている。

（「知っている。」にチェックした場合は、次のいずれかにチェックする。）

債務者が当該財産開示期日において、一部の財産を開示しなかった（1号）。

債務者が当該財産開示期日の後に新たに財産を取得した（2号）。

(取得した財産)

当該財産開示期日の後に債務者と使用者との雇用関係が終了した（3号）。

(添付書類) (該当する□に✓を記入してください。)

執行力のある債務名義の正本 1通

同送達証明書 1通

同確定証明書 通

資格証明書 通

住民票 通

通

通

(証拠書類) (該当する□に✓を記入してください。)

- 1 民事執行法197条1項1号の主張をする場合
 - 配当表写し 甲第 号証
 - 弁済金交付計算書写し 甲第 号証
 - 不動産競売開始決定写し 甲第 号証
 - 債権差押命令写し 甲第 号証
 - 配当期日呼出状写し 甲第 号証
 - 甲第 号証
 - 甲第 号証
- 2 民事執行法197条1項2号の主張をする場合
 - 財産調査結果報告書及び添付資料 甲第 1号証～甲第 ○号証
 -
- 3 民事執行法197条3項の要件立証資料
 - 財産開示期日調書写し 甲第 号証
 - 財産調査結果報告書及び添付資料 甲第 号証
 - 退職証明書 甲第 号証
 - 甲第 号証
 - 甲第 号証

【記載例】

当 事 者 目 録

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇番〇号 (送達場所)

申 立 人 甲 野 太 郎

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 札幌市□□区□□条□□丁目□番□号

(債務名義上の住所) 札幌市△△区△△条△△丁目△番△号

債 務 者 乙 野 次 郎

請求債権目録

- | | | |
|--|---|---|
| [<input checked="" type="checkbox"/> 札幌
<input type="checkbox"/> _____] | } | <input type="checkbox"/> 高等裁判所 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 地方裁判所 (<input type="checkbox"/> _____ 支部) |
| | | <input type="checkbox"/> 家庭裁判所 (<input type="checkbox"/> _____ 支部) |
| | | <input type="checkbox"/> 簡易裁判所 |

令和〇〇年(ワ)第 〇〇〇〇〇 号事件の執行力のある

- | | |
|---|---|
| [| <input checked="" type="checkbox"/> 判決 |
| | <input type="checkbox"/> 第 _____ 回口頭弁論調書 (判決) |
| | <input type="checkbox"/> 和解調書 |
| | <input type="checkbox"/> 調停調書 |
| | <input type="checkbox"/> |

正本に表示された下記債権

1 元本 金 200 万円

2 損害金

ただし、上記1に対する令和〇〇年〇月〇日から支払済みまで年〇〇パーセントの割合による損害金

(注) 該当する事項の□にレを付する。